

京都大学総合生存学館 レジリエント社会創造研究会



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

主催：京都大学総合生存学館レジリエント社会創造研究会

本研究会は、「人間・社会・自然とレジリエンス（※）の関係性を重視し、レジリエントな人を育て、レジリエントなコミュニティ・組織の仕組みづくりを行い、自然のレジリエンスを守ることを通して、レジリエント社会を創る方法を協働で検討する」ことを目的として、2018年に発足しました。異なる角度から人間・社会・自然の繋がりやレジリエンスの関係性に焦点を当てた研究会をシリーズで開催し、レジリエント社会を創る方法について協働による知を創出していく予定です。その結果を体系化し、SDGs 実施、および京都大学 UNESCO（ユネスコ）チェアの取り組みに活かすことを目指します。

<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/research#09>

※ここでは「レジリエンス」を広義に捉え、「大きな変化や逆境にあってもしなやかに発展し続ける力」を起点として研究会を進めます。

第9回レジリエント社会創造研究会

「コロナ時代の不確実性にどう向き合うか」

日時： 2021年05月31日（月）16:45～18:15

実施方法： Zoom

2021年3月に実施した「コロナ禍における不確実性とレジリエンス」アンケート結果から浮かび上がってくるものを踏まえ、公共政策 / 社会システムデザイン / レジリエンス研究の視点から、コロナ時代の不確実性にどう向き合うかについて示唆を提供します。それを土台に、コロナ後も含めて現代リスク社会の大きな特徴である不確実性にどう向き合うかについてみなさんと共に対話し、コロナ禍における教訓を次のステップに繋げることを目指します。

清水美香（総合生存学館特定准教授／話題提供者）× 岡田憲夫（京都大学名誉教授／メインコメンテーター）

対話者： 寶馨（総合生存学館教授）、土田亮（総合生存学館博士課程4年）、および参加者有志全員

登録方法： メールで承ります。(1) お名前 (2) ご所属 (3) E-mail アドレス
をご記入の上、メールタイトルを「第9回レジリエント社会創造研究会申し込み」として
下記申込先までお送りください。後日、オンライン参加に必要な情報をお送りします。

登録先： 総合生存学館レジリエント社会創造研究会
shishukanresilience@gmail.com

登録締め切り： 2021年05月28日（金）正午

協力：レジリエンスイニシアティブ